

地球温暖化、宗教・民族の対立、貧富の格差、飢餓、戦争など、世界中で不穏な動きが活発化しています。国内でも、憲法改正の動きや格差の拡がりなどにより、戦後築いてきた平和主義、民主主義などが脅かされています。平和や福祉に国が責任をとらなくなる……。そういった恐れのある時代に来ていると思います。

**今の社会はどのように変化していると思われますか？**

**今の社会に最も必要なことは何だと思われますか？**

生命の尊重、共生社会の実現、思想の自由を求めてゆくことが大切です。平和主義、福祉、政教分離などの憲法の基本理念は絶対に曲げてはならないものです。

保育の現場に35年ほど関わり、キリスト教に基づく保育、健常児も障害児も共に育ちあう保育、個性を尊重する保育などを目標にした実践を心がけてきました。このため、職員会では時を忘れてよく話し合いました。保育、調理、事務、用務、園長のそれぞれが自分の持ち場から率直に意見を述べ合いました。そうした中で、障害労働者のストライキ支援、行政への予算要求なども行いました。

**社会福祉の現場にいた頃には、どんな部分に一番力を入れていましたか？**

**雲柱社施設の職員として求められていることは何でしょうか？**

「人と思想と組織」……現代のことばで言うと「マンパワー、ミッション、ガバナンス」ですね。そういったことを念頭に置いて、人間としてことを行う。物事に対する価値観をはっきり持って仕事をする。また、常に組織の一員としての自覚に立ち、民主的人間関係の構築に取り組みつつ、そのミッションに貢献してゆくことと思います。

創立者賀川豊彦の信仰、思想、実践をしっかり受け止め、各法人が主体性を尊重しつつ、協力をしてゆくことが大切です。国内的にも国際的にも、開拓的・先駆的な活動を追及してゆくことこそ急務というべきでしょう。「贖罪愛の実践」に立ちつつ、

**雲柱社3法人はどんな方向へ向かうべきと思われますか？**

今回は、かつて財団法人、社会福祉法人、学校法人雲柱社のそれぞれの施設長を経て、各法人の理事長を勤めてきた齊藤宏氏（現在の財団法人雲柱社理事長・水元教会牧師）にお話を伺いました。

社会のすき間をうめる

## セイフティネットを構築する

雲柱社は、すでに明らかなニーズを満たすだけでなく、社会のいわば底辺で生きなければならない人々の声に耳を傾け、社会で取り残される人がなくなることを願って、社会のセイフティネットづくりに取り組んでいます。

いきいきと、のびのびと…

## 松沢幼稚園 ～個性を生かす保育を～

松沢幼稚園では床、壁、テーブルや椅子などに天然木を使用し、天窓や出入口を大きくして日光が室内に十分にふりそそぐよう配慮し、また色は控えめに使うことで、子どもたち一人一人の個性が引き立つような環境づくりにつとめています。

お互いに理解しながら生活する

## 個性を受け容れる 社会をめざして

情報が多様化し、各家庭を含め、子どもたちをとりまく環境もさまざまに変化しています。雲柱社では一人一人の利用者の違いを個性として受け容れ、子どもたちののびのびとした育ちを支援しています。

3法人が力を合わせて—

## 本部事務局 ～連携と協力の 拠点として～

社会福祉法人雲柱社では各施設の職員が本来の仕事に集中できるように、事務作業については本部で一括処理し、効率化を図っています。本部は、賀川豊彦記念 松沢資料館内にあり、ここには松沢幼稚園もあります。3法人は、この場所を中心として各法人との連携と協力につとめています。

# 雲柱社は どこへ向かうのか

最も小さい者が大切にされる社会を実現させたい—

賀川豊彦は人間の目指すべき生き方を「社会連帯と愛と犠牲の精神」に求めました。また、賀川は「最も小さい者」（最弱者）が、大切にされる社会の実現を目指してきました。この考えは社会の中にセイフティネットをしっかりと形成していくことに繋がるものであると考えられます。

創立70周年を迎えた雲柱社は、このような創立者の考えと実践を継承しつつ、いま目の前にいる人たちの重荷を共に担い、その重荷の軽減や解決に取り組む事業を展開していきたいと願っています。これらの地道な実践の積み重ねが社会のセイフティネットの形成に繋がっていくものと確信しているからです。私たち雲柱社で働く一人ひとりは、この課題を共有しながら、創立者が願った社会の実現に向かって歩みを進めていきたいと考えています。



## 雲柱社創立70周年

2008年は、雲柱社創立70周年記念の年です。この特別企画として、財団法人・学校法人・社会福祉法人雲柱社が連携・協力して以下のプロジェクトを進めています。

- ★雲柱社創立70年史の発行  
雲柱社記念誌編集委員会が組織され、2010年の発行を目指して編集をしています。
- ★雲柱社紹介DVD『雲の柱に導かれて～雲柱社の歩み～』の製作  
すでに撮影が終了し、製作も最終段階に入っています。以下の祝賀会にて披露する予定です。
- ★雲柱社70周年記念祝賀会の開催  
2008年11月21日（金）19:00から、全職員（出席可能な方のみ）を招いて祝賀会を予定しています。

～雲柱社職員  
インタビュー～